

模擬講義 派遣講師紹介資料（東京薬科大学）

氏 名	大滝博和
学科名	医療薬学科
教室・研究室名 職位	機能形態学・教授
タイトル	体の構造は医療人の共通言語
講 義 内 容	薬学部を含む医療系の学部において、低学年で人体の構造と機能を学びます。それはなぜでしょうか。それは、私たち医療系学部の学ぶ先には必ず患者さん（ヒト）がいるからです。たとえ、病院などで働かず、薬の研究や食品の開発などに携わったとしてもそのプロダクト（産物）のほとんどはヒトを対象としています。しかし、人体（高校では生物）の授業は暗記が多いから難しいと敬遠されがちです。本当にそうでしょうか？ 私たちが生まれて初めて両親から学んだことは、顔の構造であったり手の大きさであったり体の構造ですよね。この講義は、私たちの体を実際使いながら体の構造を学び人体に親しんでもらうことを目的としています。
自身で持参する物 ※持参・該当するものに☑	☒ パソコン（ OS： ☒ Windows ・ ☐ Mac ） → 接続ケーブル（ ☐ RGB ・ ☐ HDMI ・ ☒ どちらでも可） ※Mac をお使いの場合は、ご自身で接続ケーブル（変換コネクタ）をお持ちください。 ☐ その他（実験機材一式）
会場で 準備いただきたい 備品等 ※必要なものに☑	☒ プロジェクター・スクリーン ☐ その他必要な物※（ ） ※会場・物品によっては準備が難しいことがあります。
その他伝達事項	